

## 100歳なめどいびりぐます

7月のお誕生日で100歳を迎えられた土江牧江さん(羽出)に、町より記念品を贈呈しました。

牧江さんは、町内の娘さん宅で介護サービスをご利用されながら、娘さんご夫婦やご近所に住む息子さんたちに囲まれ、過ごされています。当日も、賑やかなお祝いの会となりました。

牧江さんは、津山市でお生まれになりました。結婚後、ご主人としばらく大阪で生活された後、終戦を機に羽出に帰郷され、4人のお子さんに恵まれました。ご主人のご両親が経営されていた雑貨店に魚屋を加え、お店を受け継がれたそうです。牧江さんは、そこから調理師免許を取得し、奥津中学校の給食調理員として定年の55歳まで勤務されました。中学校を退職されてからも、ご主人と一緒に学校などへ魚を卸され、ご主人が亡くなった後も3年ほどはお一人で働かれていたそうです。退職後は、ゲートボールと老人クラブ活動に力を注がれました。何をするのも一生懸命で、ゲートボールでは2級審判免許を取得し、90歳を超えるまで現役で活躍されました。また、老人クラブでは、奥津町羽出地区の副会長を務め、平成9年に郡表彰、平成11年に県表彰を受けたと、表彰状を見せていただきました。

平成30年に脳梗塞を患い、車椅子生活になられたものの、朝は大好きな柏餅を2個軽くだいらげるほどお元気だそうです。ご家族は「今後も、好きな物を食べて、穏やかな余生を過ごしてほしい。」と話されています。



## 全国大会出場者 壮行式

7月11日(火)、澤亮佑さんと澤七乃葉さん、福盛蓮斗さんの壮行式が役場応接室で行われ、山崎町長から激励の言葉と武本教育長から激励金が贈呈されました。

澤さん兄弟はソフトボールで「第37回全日本小学生男子ソフトボール選手権大会」、福盛さんは空手道組手で「第63回空手道糸東会全国選手権大会」にそれぞれ出場されます。

鏡野町では予選を突破して全国大会や国民スポーツ大会(旧称・国体)等に出場される選手や団体に激励金を贈呈しています。詳しくはホームページをご確認ください。



激励金交付について

## 鏡野町立小中学校へ書籍の寄贈

7月26日(水)、中央公民館教育長室にて、鏡野町の児童生徒にSDGsへの理解を深めてもらうため、津山信用金庫から町内の小中学校等へ書籍の寄贈が行われました。

今回寄贈されたのは「サクラの川とミライの道(津山市出身で一級建築士の稲葉なおと氏著)」9冊です。

この作品は、SDGsが掲げる17項目のうち11番目の「住み続けられるまちづくり」がテーマになっています。大人でも難しい内容を、子どもたちにもわかりやすく、ストーリー仕立ての作品です。

未来を担っていく作州地域の小中学生の皆さんに是非手に取って読んでいただきたいの思いで寄贈していただきました。

